

展示会「日本の子どもの文学－国際子ども図書館所蔵資料で見る歩み」関連講演会

「きょうの絵本 あしたの絵本－希望のかたちを求めて－」

平成26年6月21日（土）

第1部 講演 広松由希子氏（絵本作家・評論家）

第2部 対談 広松由希子氏、宮川健郎氏（武蔵野大学教授）

平成26年6月21日、国際子ども図書館において、3階の本のミュージアムで開催中の展示会「日本の子どもの文学－国際子ども図書館所蔵資料で見る歩み」の関連イベントとして「きょうの絵本 あしたの絵本－希望のかたちを求めて－」と題する講演会を行いました。

第1部は、展示会「日本の子どもの文学－国際子ども図書館所蔵資料で見る歩み」中の特別コーナー「21世紀の子どもの本 その1 絵本」の監修者である広松由希子氏に、大人のための絵本や赤ちゃん絵本、逆輸入絵本や新しい昔話の本など、さまざまな切り口で選ばれた作品の紹介を通して、21世紀の絵本の特徴や傾向についてお話しいただきました。

第2部は、同展示会の監修者である宮川健郎氏と広松氏による対談が行われ、絵本と紙芝居の関係や、絵本との出会い方・手渡し方などに関して意見が交わされました。また、第1部の講演の続きとして、3.11以後の絵本における新しい表現について、広松氏にお話しいただきました。